



## 富士通製サーバ「PRIMERGY」「PRIMEPOWER」と ATEN KVM スイッチ(ハイエンド)の接続検証結果報告書

ATEN ジャパン株式会社  
技術サポート部

### 1. 検証概要

PRIMERGY シリーズと PRIMEPOWER との混在 OS 環境、および PS/2 と USB の混在インターフェイス接続による環境にて ALTUSEN (by ATEN) KVM スイッチと動作検証を実施致しました。

### 2. 検証期間

2007年1月10日～1月23日

2007年2月23日～3月8日

### 3. 検証装置

型番	概要
KH1508/1516	8 or 16 ポート KVM スイッチ、延長機能搭載
KM0216/0432/0832	16 or 32 ポートマトリックス KVM スイッチ、延長機能搭載、マルチユーザ対応
KA9222	PS/2 対応コンソールモジュール、ローカル・リモート切替可能
KA9272	USB 対応コンソールモジュール、ローカル・リモート切替可能
KA9120/9520	PS/2 対応コンピュータモジュール

KA9170/9570	USB 対応コンピュータモジュール
KA9131	コンソールモジュール(Sun USB)

#### 4. サーバ構成

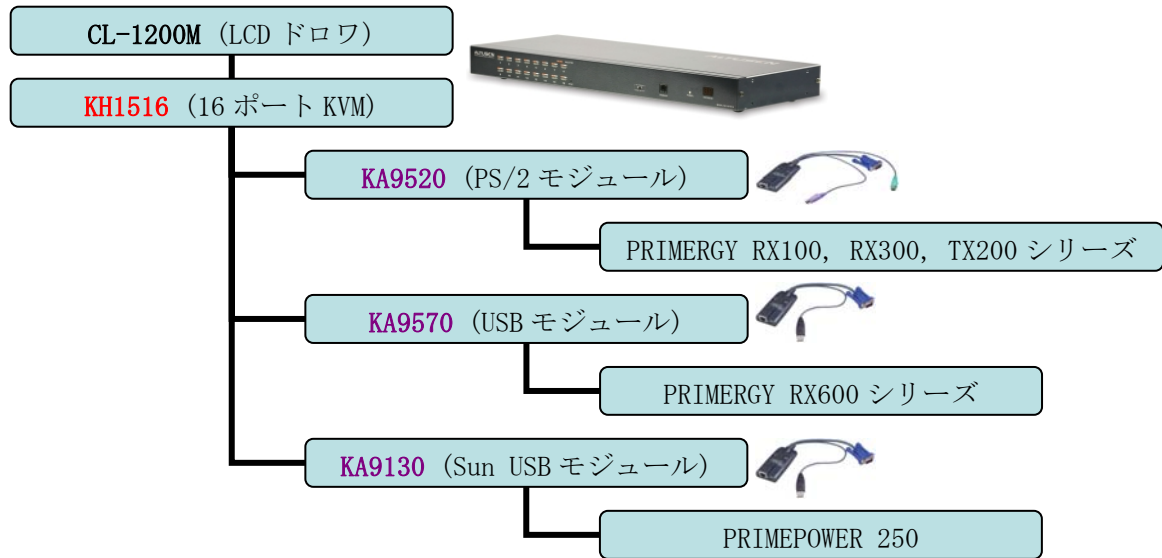
型番	OS
PRIMERGY RX100 S2	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
PRIMERGY RX100 S3	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
PRIMERGY RX300 S2	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
PRIMERGY RX600 S3	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
PRIMERGY RX600 S2	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
PRIMERGY TX200 S2	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)
PRIMERGY TX200 S3	Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
PRIMEPOWER 250	Solaris 10 OS

#### 5. 検証項目

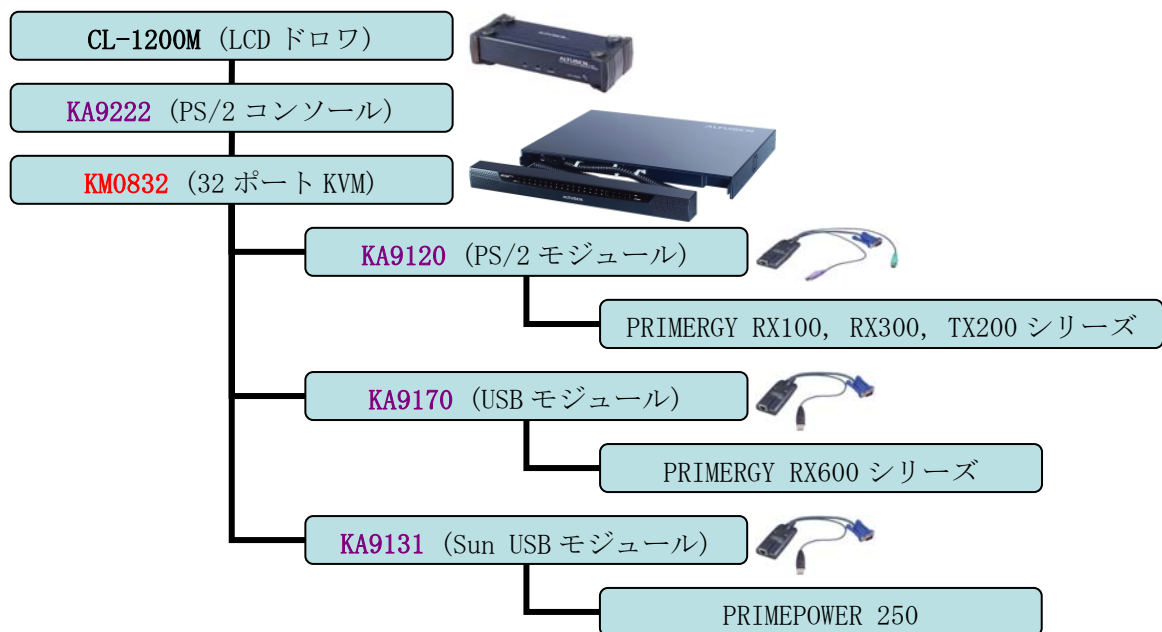
- A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認
- B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性
- C) マウス(タッチパッド)の動作確認
- D) Windows Server 2003、Red Hat Linux、Solaris 10 OS の OS 混在環境による動作確認
- E) サーバ側接続に USB モジュール(KA9570/9170)を使用し正しくホットプラグ
- F) KVM デイジーチェーン接続時の動作確認
- G) PS/2 と USB のインターフェイス混在環境による動作確認

## 6. 構成図

### 6-1. KH1508 or KH1516 構成例



### 6-2. KM0216, KM0432 or KM0832 構成例



## 7. 接続方法

- CL-1200M(LCD ドロワ)と各KVMスイッチもしくはコンソールモジュール間は、ドロワ同梱PS/2 対応 2L-5202P ケーブルを使用します。
- KVM スイッチから各サーバ間は、PS/2 接続時と USB 接続時の二通りがあります。

PS/2 接続時は、PS/2 モジュールにて接続します。

USB 接続時は、USB モジュールにて接続します。

PRIMEPOWER (Solaris 10 OS) との接続時は、SUN モジュールにて接続します。

## 8. 検証結果

A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認

・コールドスタート時

サーバ側シャットダウン後に接続されている全てのケーブル類(電源ケーブル含む)を切り離し、しばらくの時間(数分~数十分)経過後に全てのケーブル類を接続し、スタート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

・ホットスタート時

サーバ側に接続されている全てのケーブル類は接続されたまま、シャットダウンとスタート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

・リブート時

サーバ側に対して、リブート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性

テキストエディタを起動し、各キーを押し実際に入力される文字とキーマップが正しいことを確認致しました。

※補足：PRIMEPOWER (Solaris 10 OS)側の独自キーに関しては、ホットキーにより可能となっております。

C) マウス(タッチパット)の動作確認

サーバ側のデバイス認識にて、マウス(タッチパット)をOS標準の「PS/2 互換マウス」または、「HID 互換マウス」として認識しておりました。マウス(タッチパット)の全ての動作において、正常動作を確認致しました。

D) Windows Server 2003、Red Hat Linux、Solaris 10 OS の OS 混在環境による動作確認

Windows Server 2003, Standard Edition (SP1)サーバ、Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4 for x86)サーバ、およびSolaris 10 OSサーバの混在環境による、それぞれの動作確認を致しました。どちらのOS環境においても、正常動作を確認致しました。

E) サーバ側接続にUSBモジュール(KA9570/9170)を使用し正しくホットプラグ

RX100 S2/S3, RX300 S2, RX600 S2/S3, TX200 S2/S3のサーバ稼動時にUSBモジュールを数度抜き差し致しました。サーバ側のUSBホットプラグが正常動作し、正しく再認識することを確認致しました。

※補足：Solaris 10 OS 側では、OS 稼働中にコンソールであるキーボード・マウスの抜き差しを許可している記述が見当たりませんでしたので、この検証は実施しておりません。

F) KVM デイジーチェーン接続時の動作確認

各 KVM スイッチの 1 台構成時と、同機種の日ジーチェーン接続による多段階構成時にて、サーバ操作に対する動作確認を致しましたが、どちらの構成時も差異は無く、正常動作を確認致しました。

G) PS/2 と USB のインターフェイス混在環境による動作確認

RX100 S2/S3, RX300 S2, TX200 S2/S3 に対して、PS/2 モジュール、USB モジュール、それぞれを接続しサーバ操作に対する動作確認を致しました。PS/2 と USB の混在環境による構成時において、正常動作を確認致しました。

お問い合わせ先

ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-16-6 タツミビル 8F

Tel: 03-5323-7170 Fax: 03-5323-2181 Email: [support@atenjapan.jp](mailto:support@atenjapan.jp) URL: [www.atenjapan.jp](http://www.atenjapan.jp)